

備前市施策評価シート

施策名 (小項目)	ため池・治山対策の推進	コード	作成者	役職	まち産業課長
		04-05-18	丸尾 勇司	氏名	丸尾 勇司
			電話	0869-64-1831	
			このシート作成に要した時間	7.0 時間	

この施策の アピール ポイント	ため池及び治山事業の整備推進を図り、被害の未然防止と地域の安全性を高める。
-----------------------	---------------------------------------

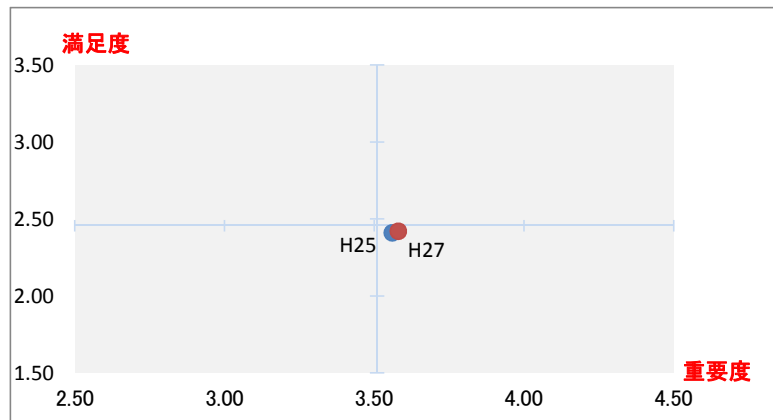
この施策の 平成26年度の 施政方針	
--------------------------	--

<備前市総合計画の内容から記載する>

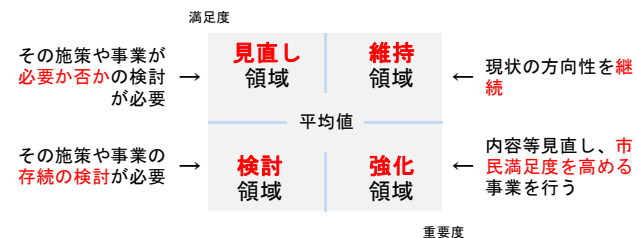
① 政策の体系	基本構想 (大項目)	土台となる政策「安全・安心」
	基本計画 (中項目)	安全に暮らせるまち
② 対象と目的 (誰のために、何のために)	地域住民の安全・安心と地元受益者に安定した農業用水の供給を行うため老朽ため池の改修を行い防災機能の強化に努める。	
③ 現況と課題 (総合計画から現在の問題点を抽出)	耕作農家の減少により一部農家の経済的負担が増大することから、ため池の改修を進めていくことが困難になっている。	
④ 施策展開 (総合計画の施策部分から、実施する施策を抽出)	<ul style="list-style-type: none"> 危険ため池の改修 山地危険箇所対策 	

⑤ 市民意識調査による施策の重要度・満足度

調査年度	H25	H27
重要度 (%)	3.56	3.58
満足度 (%)	2.41	2.42



《グラフにおける領域の説明》



調査結果に対するコメント、市民の反応等	近年の局地的豪雨に対して、地域の安全・安心を確保するためには、ため池や治山施設の計画的な整備が必要である。
調査対象でない施策は、市民の反応等	

⑥ 施策成果指標 (基本目標・基本施策・施策意図から設定)

施策に対する成果指標名	単位	過年度実績			評価年度	成果指標の計算式の説明 ベンチマークの説明	目標値	
		H24	H25	H26			H27	H28
危険ため池改修数	目標 箇所	—	1	1	平成24年度をゼロとして10年後10箇所を目標に改修する。	H27	1	
	実績 箇所	—	0	0		H28	1	
	達成率 %	—	0.0	0.0		H34	10	
	ベンチマーク					—	—	
山地危険箇所対策数	目標 箇所	—	1	1	平成24年度をゼロとして10年後10箇所を目標に改修する。	H27	1	
	実績 箇所	—	0	0		H28	1	
	達成率 %	—	0.0	0.0		H34	10	
	ベンチマーク					—	—	
参考指標①	目標					H27		
	実績					H28		
	達成率 %					H34		
	ベンチマーク					—	—	
参考指標②	目標					H27		
	実績					H28		
	達成率 %					H34		
	ベンチマーク					—	—	
参考指標③	目標					H27		
	実績					H28		
	達成率 %					H34		
	ベンチマーク					—	—	

⑦ 目標達成に必要な新規事業 (裏面 施策構成事務事業以外の事業) 及び連携させる他部署の事業

実施主体	新規に必要な事業・連携が必要な事業	説明・期待される効果
備前市	小規模ため池補強事業	日本政策金融公庫から融資を受け実施する事業で元利償還に対し岡山県より50%の補助がある。
岡山県	中山間地域総合整備事業	農業生産基盤、農村生活環境基盤を有利な条件で総合的な整備が可能

⑧ 施策の評価

項目	評価	5:非常に高い 4:高い 3:どちらともいえない 2:低い 1:非常に低い	
		判断理由 (なぜ、そのランクと評価したのか)	
1 <成果指標の妥当性> 施策の目的・成果を表現しているか?	4	地域の安全安心と農業用水の確保を図る上でため池の整備は妥当と考える。	
2 <事業構成の適当性> 手段は最適か?	4	治山及び林道整備は、山地災害の未然防止を図ることから事業構成は適当と考える。	
3 <施策の有効性> 指標分析、評価年度・中長期の達成見込みは?	4	山地危険箇所対策については、県と協議しながら進めていく必要がある。	
進行年度 (H27年度) の取組内容 (課題解決状況)		平成26年度に引き続き、被害が大きいと想定されるため池の耐震診断と改修の必要があると思われるため池のハザードマップの作成を行う。	
翌年度 (H28年度) の取組目標		一斉点検、耐震診断により改修の必要があるため池について地元関係者と協議を行い、施工可能なため池から県へ要望していきます。	
二次評価者コメント		農業従事者が減少するなか、耕作放棄地の増加によりため池は、近年頻発している集中豪雨に対する防災機能が重視されています。改修を要するようなため池等については、関係者と協議を行うとともにハザードマップ等により地域の防災力・減災力の向上に努めてください。	基本施策への貢献度 4 やや高い
役職	まちづくり部長		
氏名	高橋 昌弘		

施策構成事務事業の評価

施策を構成する 事務事業	細事業	事業 分類	事業費等（単位：千円，人）										施策への 貢献度	
			平成24年度			平成25年度			平成26年度			平成27年度		
			直接 事業費	人件費	人工数	直接 事業費	人件費	人工数	直接 事業費	人件費	人工数	当初予算		
01	ため池整備事業	ため池整備事業	単市	—	79	0.01	—	—	—	0	449	0.05	0	☆☆☆☆
02	治山事業	県営治山事業	単市	—	371	0.04	—	106	0.01	0	465	0.06	0	☆☆☆☆
03	治山林道整備事業	小規模林道整備事業	補助	2,000	993	0.12	12,765	1,299	0.19	8,940	823	0.11	2,000	☆☆☆
		単独事業	単市	545	637	0.07	3,741	1,048	0.12	799	170	0.02	1,000	☆☆☆☆
		林道維持管理事業	単市	3,723	1,252	0.14	4,096	1,428	0.19	3,797	637	0.08	0	☆☆☆
		県森林協会負担金	単市	427	0	0.00	89	0	0.00	27	0	0.00	287	☆☆
		備前地区治山林道協会負担金	単市	280	0	0.00	135	0	0.00	37	108	0.01	494	☆☆☆
04	農林海岸施設管理事業	治山施設維持管理事業	単市	495	159	0.02	1,491	317	0.03	0	296	0.03	0	☆☆☆
		県営農林海岸施設整備事業	単市	—	—	—	—	—	—	600	108	0.01	0	☆☆
05	海岸整備事業	県への要望事項	単市	—	—	—	—	—	—	0	0	0.00	0	☆☆
この施策に費やした資源（単位：千円，人）				平成24年度			平成25年度			平成26年度			平成27年度	
				7,470	3,491	0.40	22,317	4,198	0.54	14,200	3,056	0.37	3,781	

備前市事務事業評価シート

事業の概要		事業開始年度		根拠法令・例規等		
事業開始年度		昭和46年度		森林法・地すべり防止法		
総合計画	大項目 基本構想	04	土台となる政策「安全・安心」	問	担当課(室)	
	中項目 基本計画	05	安全に暮らせるまち		職・氏名	まち産業課
	小項目 施策	18	ため池・治山対策の推進		職・氏名	係長 小川勝巳
事務事業名		02	治山事業	合先	電話	
					このシート作成に要した時間	2.0 時間

事業の目的	
対象 (誰・何に対して)	山地危険区域の周辺住民
目的 (何のために)	荒廃林地、危険渓流や山地災害危険区域での土砂災害の防止。
事業の意図する成果 (どのような状態にしたいのか)	荒廃林地、危険渓流や山地災害危険区域での集中豪雨による土砂災害の防止を図るため治山事業を進める。

事業の実績		事業の説明		優先度
目的を達成するために実施した事業	細事業名	県営治山事業	台風等の集中豪雨に起因する森林、山地の災害を防止し、また、水源かん養や生活環境の保全を図るため、岡山県が治山事業を実施するにあたり、地元調整を行う。	◎

事業費等		単位	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度実績
決算額	事業費	千円	0	0	0
	必要人員	人	0.04人	0.01人	0.06人
	事業費計	千円	371	106	465
財源	国	千円			
	県	千円			
	市	千円			
	その他()	千円			
一般財源	千円	371	106	465	
受益者負担比率	%	-	-	-	

結果指標名		単位	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度実績
結果指標	結果指標量	説明		0	0.5
	対前年比	%	-	-	-
	活動コスト	円	371,000	106,000	465,300
	単位当たりコスト	円	#DIV/0!	#DIV/0!	930,600

事業の成果		年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度目標値
治山事業実施率	成果指標名	目標値 (A)	40.9	40.9	41.4	43.0
		実績値 (B)	38.9	41.3	42.2	到達目標値
		達成率 (B/A)	95.11%	100.98%	101.93%	50
成果指標設定の考え方・式や説明						
治山事業実施率(%) = 治山事業実施箇所数 ÷ 山地災害危険箇所数 × 100 (平成26年度現在 100箇所/237箇所)						

事務事業の評価		該当する項目を□から■へ < ■ ← 「コピー」して「貼り付け」してください >		Check
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/>	市が実施するよう法令で義務づけられている	妥当性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い
		<input type="checkbox"/>	法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす	
必要性	市民ニーズ	<input type="checkbox"/>	現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない	B
		<input type="checkbox"/>	事業の内容が一部の受益者に偏っている	
効率性の評価	コスト	<input type="checkbox"/>	対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている	B
		<input type="checkbox"/>	現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である	
有効性の評価	目的達成度	<input type="checkbox"/>	事業開始当初の目的から変化してきている	有効性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い
		<input type="checkbox"/>	事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている	
市民参画度	市民参画度	<input type="checkbox"/>	厳しい財政状況であるが、実施する必要がある	B
		<input type="checkbox"/>	市民・団体等から要望・要請が強い	
市民参画度	市民参画度	<input type="checkbox"/>	単位当たりコストは前年度と比較して改善している	B
		<input type="checkbox"/>	実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある	
市民参画度	市民参画度	<input type="checkbox"/>	事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある	B
		<input type="checkbox"/>	コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい	
市民参画度	市民参画度	<input type="checkbox"/>	受益者負担率は適正である	B
		<input type="checkbox"/>	受益者負担率を見直す余地がある	
市民参画度	市民参画度	<input type="checkbox"/>	サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない	B
		<input type="checkbox"/>	現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	
市民参画度	市民参画度	<input type="checkbox"/>	最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	B
		<input type="checkbox"/>	成果指標の設定は適切である	
市民参画度	市民参画度	<input type="checkbox"/>	成果指標の到達目標値は達成できそうである	B
		<input type="checkbox"/>	成果指標達成率は前年度と比較して向上している	
市民参画度	市民参画度	<input type="checkbox"/>	成果指標達成率は80%未満となっている	B
		<input type="checkbox"/>	現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない	
市民参画度	市民参画度	<input type="checkbox"/>	法定事務・内部管理事務であり成果は求めにくい	B
		<input type="checkbox"/>	事業について積極的にHPや広報等で情報提供している	
市民参画度	市民参画度	<input type="checkbox"/>	事業にはNP0、ボランティア団体等が参画している	B
		<input type="checkbox"/>		

進行年度(H27年度)の改革改善内容		状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
説明		状況		○					
説明		平成27年度は善山地区1箇所の山腹工を行う予定で、事業が進捗するよう地元調整に努める。							

総合評価		総合評価
台風等の集中豪雨に起因する森林、山地の災害を未然に防止する治山の事業であり、また、県営事業で市の費用負担もないことから引き続き進めていく必要がある。		B

平成28年度の方向性・取組目標		方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
取組目標		方向性		○					
取組目標		来年度事業箇所において、費用対効果や緊急度を精査し積極的に岡山県に要望する。また、今年度施工箇所について、事業が円滑に進捗するよう地元調整に努める。							

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しな

備前市事務事業評価シート

事業の概要		事業開始年度		平成18年度		根拠法令・例規等		森林法	
総合計画	大項目	基本構想	04	土台となる政策「安全・安心」		問	担当課(室)	まち産業課	
	中項目	基本計画	05	安全に暮らせるまち			職・氏名	係長 小川勝巳	
	小項目	施策	18	ため池・治山対策の推進			電 話	0869-64-1830	
事務事業名		03		治山林道整備事業		このシート作成に要した時間		2.0 時間	

事業の目的		Plan	
対象(誰・何に対して)	林道利用者及び森林所有者		
目的(何のために)	林道を整備することにより、地域住民の利便性を高める。また、林道の保全及び災害防止のため維持管理を行う。		
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	林道利用者が安全に通行できるよう改良、舗装等の整備を進める。		

事業の実績		Do	
目的を達成するため実施した事業	細事業名	事業の説明	優先度
	小規模林道整備事業	岡山県の補助対象条件を満たす改良、舗装等の事業を行う。	◎
	単独事業	県及び国庫補助対象とならない林道・治山施設の整備を行う。	○
	林道維持管理事業	林道の維持管理を行う。	○
	県森林道協会負担金	各種団体への負担金。	▲
	備前地区治山林道協会負担金	各種団体への負担金。	▲
	治山施設維持管理事業	治山施設の維持管理を行う。	○

決算額	事業費等		単位	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度実績
	事業費	千円		4,826	18,646	13,600
	必要人員	人	件	0.35人	3.04人	0.48人
	費計	千円		7,867	22,297	15,634
	国庫支出金	千円		600	3,600	3,900
	受益者負担					
財源	千円					
市債						
その他()						
一般財源			7,267	18,697	11,734	
受益者負担比率	%		-	-	-	

結果指標	結果指標名	単位	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度実績
	結果指標量	説明	90	310	325.0
	対前年比	%	-	344.4%	104.8%
	活動コスト	円	7,867,000	22,297,000	15,633,820
単位当たりコスト			87,411	71,926	48,104

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業の成果		(平成26年度事業)				
林道工事延長	成果指標名	年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度目標値
	目標値(A)		90	310	325	375
	実績値(B)		130	430	304	到達目標値
達成率(B/A)			144.44%	138.71%	93.54%	300
成果指標設定の考え方・式や説明						
年次的に行う林道の改良、舗装工事の延長						

事務事業の評価		該当する項目を□から■へ < ■ ← 「コピー」して「貼り付け」してください >		Check	
妥当性の評価	市の関与の妥当性 必要性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input checked="" type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い		妥当性評価 A B C D E 高や普や低い や通やい 高 低 い	
		<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている		効率性評価 A B C D E 高や普や低い や通やい 高 低 い	
効率性の評価	コスト 手段	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNP0、ボランティア団体等が参画している		有効性評価 A B C D E 高や普や低い や通やい 高 低 い	
		目的達成度 市民参画度		C	

進行年度(H27年度)の改革改善内容															
状況	<table border="1"> <tr> <td>拡充</td> <td>現状継続</td> <td>見直し</td> <td>縮小</td> <td>整理統合</td> <td>休止</td> <td>廃止・完了</td> </tr> <tr> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了		○					
拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了									
	○														
説明	H26年度から引き続き、林道伊佐線の危険箇所である法面保護工事を県補助事業で行う。														

総合評価		総合評価	
林道整備については、費用対効果を十分に検討する必要があるが、特に地域住民の生活道路として利用されている林道の危険箇所については、安心・安全の観点から年次的に対策を行う必要がある。		総合評価 A B C D E 高や普や低い や通やい 高 低 い	
		C	

平成28年度の方向性・取組目標		Action																		
方向性	<table border="1"> <tr> <td>拡充</td> <td>現状継続</td> <td>見直し</td> <td>縮小</td> <td>整理統合</td> <td>休止</td> <td>廃止・完了</td> </tr> <tr> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了		○										
拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了														
	○																			
取組目標	林道の危険法面の工事において、適切な工種を選定し費用対効果が最大となるように努める。																			

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しな

備前市事務事業評価シート

事業の概要		事業開始年度	昭和46年度以前	根拠法令・例規等	海岸法・岡山県建設事業費市町村負担金徴収条例
総合計画	大項目 基本構想	04	土台となる政策「安全・安心」	問 担当課(室)	まち産業課
	中項目 基本計画	05	安全に暮らせるまち	合 職・氏名	係長 小川勝巳
	小項目 施策	18	ため池・治山対策の推進	先 電 話	0869-64-1830
事務事業名		04	農林海岸施設管理事業	このシート作成に要した時間	
				2.0 時間	

事業の目的		Plan
対象 (誰・何に対して)	農林海岸保全区域内の市民及び農地	
目的 (何のために)	津波、高潮、波浪等による被害から市民の生命及び財産と農地を守る。	
事業の意図する成果 (どのような状態にしたいのか)	効果的な護岸、防潮堤等の構造物を整備する。	

事業の実績		Do	
目的を達成するために実施した事業	細事業名	事業の説明	優先度
	県営農林海岸施設整備事業	農林海岸保全区域に指定されている海岸において、岡山県が事業主体となり、市が事業費の一部負担と地元調整を担う。	▲

事業費等		単位	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度実績
決算額	事業費	千円	0	0	600
	必要人員	人	0.00人	0.01人	106
	事業費計	千円	0	106	708
財源	国	千円			
	県	千円			
	市	千円			
	その他()	千円			
一般財源	千円		106	708	
受益者負担比率	%		-	-	

結果指標名		単位	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度実績
結果指標	結果指標量	説明			
	対前年比	%			
	活動コスト	円	0	106,000	708,210
	単位当たりコスト		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

事業の意図する成果とつながら成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業の成果		(平成26年度事業)				
成果指標名	年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	目標値
農林海岸の維持補修	目標値 (A)					
	実績値 (B)					到達目標値
	達成率 (B/A)	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!		
成果指標設定の考え方・式や説明						
現在は農林海岸の護岸については整備が完了しており、維持補修の必要が生じた箇所の対応であるため、目標設定は困難である。						

事務事業の評価		該当する項目を□から■へ < ■ ← 「コピー」して「貼り付け」してください >		Check
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である		妥当性評価 A B C D E 高や普や低い や通やいい 高 低 い
	市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input checked="" type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い		C
効率性の評価	コスト	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input checked="" type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている		効率性評価 A B C D E 高や普や低い や通やいい 高 低 い
	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している		有効性評価 A B C D E 高や普や低い や通やいい 高 低 い
市民参画度				C

進行年度 (H27年度) の改革改善内容															
状況	<table border="1"> <tr> <th>拡充</th> <th>現状継続</th> <th>見直し</th> <th>縮小</th> <th>整理統合</th> <th>休止</th> <th>廃止・完了</th> </tr> <tr> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了		○					
拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了									
	○														
説明	今年度の施工予定箇所は無いが、次年度以降補修を必要とする護岸があれば、岡山県に要望していく。														

総合評価		総合評価
農林海岸後背地の保全のため、必要な事業である。保全対象である農地の宅地化が年々進んでいるが、近年の地震・台風・高潮に耐えられるよう整備・補修が必要な箇所を検討し、県営事業として事業を要望していかなければならない。		A B C D E 高や普や低い や通やいい 高 低 い
		C

平成28年度の方向性・取組目標															
方向性	<table border="1"> <tr> <th>拡充</th> <th>現状継続</th> <th>見直し</th> <th>縮小</th> <th>整理統合</th> <th>休止</th> <th>廃止・完了</th> </tr> <tr> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了		○					
拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了									
	○														
取組目標	補修が必要な箇所があれば岡山県に要望し、採択されれば事業が円滑に進捗するよう地元調整に努める。														

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しな

